

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	上水道及び簡易水道	コード	担当課	上下水道部水道工務課
		01-01-09	電話	0869-66-9793

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	水道利用者41,311人に対し水道を計画的に整備し、安全かつ低廉な水の供給を効率的に行うことにより、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	<ul style="list-style-type: none"> 安全でおいしい水の供給 合併に伴う水道料金の統一と適正料金の設定 震災・災害等に対する施設整備と危機管理 	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	上水道は計画給水人口60,300人、1日最大給水量43,250m ³ の能力があり、吉井川、金剛川を水源とし、水質水量ともに恵まれているが、簡易水道はいずれも小規模な運営となっている。給水人口は昭和53年を境に毎年減少し、水利用も低落傾向の中で施設の稼働状況は50%を下回っており効率が悪い。また、原水汚染や需要者ニーズの高度化、多様化に対応するため、施設の効率的な運営を図るとともに徹底した水質管理を行う必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の計画的な整備 水質管理の徹底 震災・災害などに対する施設整備 環境対策と水の安定供給 	

⑥ 施策構成事務事業の評価 担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)		優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費		
1 上水道管理運営事業 (64,890)	A	水道施設整備等策定事業	2,940		B
		水道施設維持管理運営事業	183,580		B
		水道施設建設事業	37,578		B
		水道施設改良事業	204,439		A
		日本水道協会会費	172		B
		日本水道協会中国四国地方支部会費	69		C
		日本水道協会岡山県支部会費	25		B
		吉井川下流水利用連絡協議会会費	22		C
		吉井川坂根堰利水者協議会会費	30		C
		岡山県電力協議会会費	16		C
水道技術研究センター会費	100		C		
2 水道料金賦課徴収事業 (42,480)	C	水道料金賦課徴収事業	46,991		A
3 簡易水道事業管理運営事業 (12,199)	C	簡易水道事業管理運営事業	30,938		B
4 飲料水供給施設管理運営事業 (8,749)	B	飲料水供給施設管理運営事業	8,064		B
5 簡易給水施設管理運営事業 (2,510)	C	簡易給水施設管理運営事業	6,894		C
6 水質管理事業 (11,781)	A	水質管理事業	5,538		A

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17		
	670,005		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
水道事業審議会	施設更新及び料金改定等に関する答申	水道施設整備等基本計画に基づく施設整備と財政審議を行い給水収益の増加を図る。

⑧ 施策の評価 5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	施設の点検・維持管理システムを強化した結果、有収率が向上した。	3	さらなる有収率の向上が必要
2 事業構成の適当性	3	合併に伴う施設の効率的な整備と管理体制が求められている。	3	会費の見直しが必要
3 施策の有効性	4	重要なライフラインとして機能し、市民に安全でおいしい水の供給ができた。	4	ライフラインとして重要な施策である
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		統合化・広域化を推進し、財政・技術基盤の強化を図るとともに、民間技術を積極的に活用し、効率的な経営体制を確立する。なお、今後の施設更新等に必要財源確保のため、料金改定を審議中である		適正な料金改定や計画的な整備を行う必要がある
担当部長コメント		ライフラインとしての機能の向上を図りながら、中・長期的な経営計画に基づく施設更新計画等を策定するなど、計画的かつ適正な施設整備を行う必要がある。		

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
健全経営の維持	有収水量の向上と財源確保	1
公正妥当な料金設定	適正な水道料金の設定	4
計画的な施設更新	老朽施設の計画的な更新と既存施設の適正管理	3
安心・安全な水の供給	水質管理の徹底	2

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明	
			H23	H28			
1 年間給水量	目標	m ³	7,255千		-	H23、28の目標値は見込値	
	実績	m ³	7,012千	6,015千			5,869千
	達成率	%	96.7				
参考1 給水人口	目標						
	実績	人	41,311.0				
	達成率	%					
参考2 年間有収率	目標	%	91.9		91.9	H16年度全国平均(企業年鑑)有収水量÷給水量	
	実績	%	89.5				
	達成率	%	97.4				
参考3 施設利用率	目標	%	50.0		62.3	同上 1日平均給水量÷1日給水能力	
	実績	%	44.4				
	達成率	%	88.8				

市民意識 調査結果	施策名	調査年度					
		H18	H19	H20	H21	H22	
		重要だと思っている市民の割合	%				
		満足している市民の割合	%				